

浅間山

○火山活動度レベル（平成15年11月4～30日）

2（やや活発な火山活動）

○概況（平成15年11月）

火山活動は、やや活発な状態が続いています。

地震活動は、6月末頃から微小な地震が増加し、11月も地震回数のやや多い状態が継続しました。また、火山性微動が時々発生しました。

火口底の温度は依然として高い状態が継続していると考えられます。

以上のことから火山活動はやや活発な状態が続いており、今後も山頂付近に少量の降灰をもたらす小規模な噴火の起こる可能性はあります。山頂付近では少量の降灰や火山ガスには注意が必要です。

○地震活動の状況

2000年9月から、地震活動のやや活発な状態が続いていましたが、6月末頃から微少な地震が増加し、7～10月に引き続き11月も地震回数のやや多い状態が継続しました。今期間、1日あたりの地震回数は30～60回程度で推移しています（全て無感地震、表1、図1、図3）。火山性微動は、2日に1回程度の割合で発生し、その規模は基準観測点（B点、火口の南約2km）での振幅が0.1～0.3μm、継続時間が約1～3分で、全て小さいものでした（表1、図2、図4）。

表1 火山性地震・火山性微動日別回数表（浅間山）

浅間山(B点)												
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
低周波地震	41	48	59	41	48	55	27	47	66	49	481	
微動	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0	6	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
低周波地震	54	40	41	57	55	43	27	44	36	48	445	
微動	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	4	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低周波地震	39	40	47	43	23	45	44	53	31	23	388	1314
微動	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2	7	17

短期・日別 地震活動推移 （最近 2 年間の火山性地震・火山性微動の日別回数）

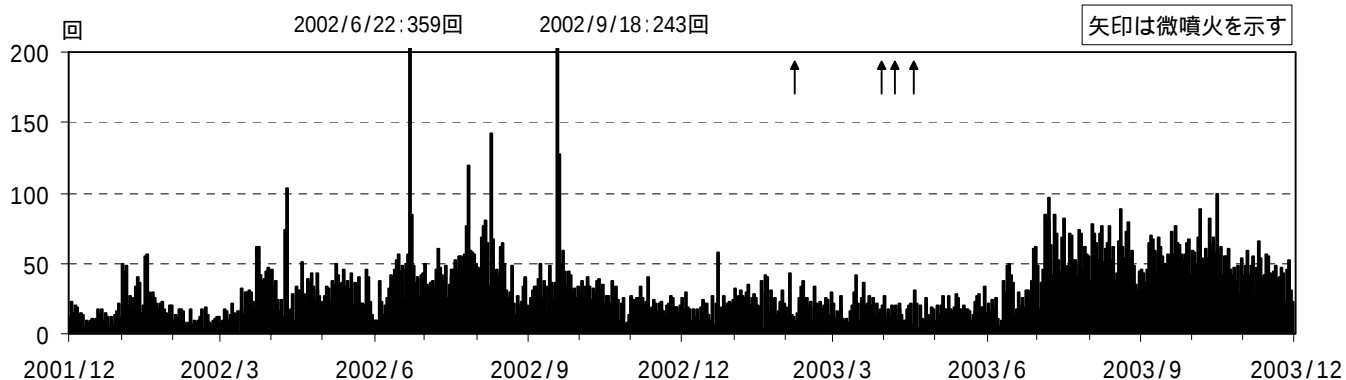


図 1 浅間山 火山性地震日別回数（2001 年 12 月 1 日～2003 年 11 月 30 日）

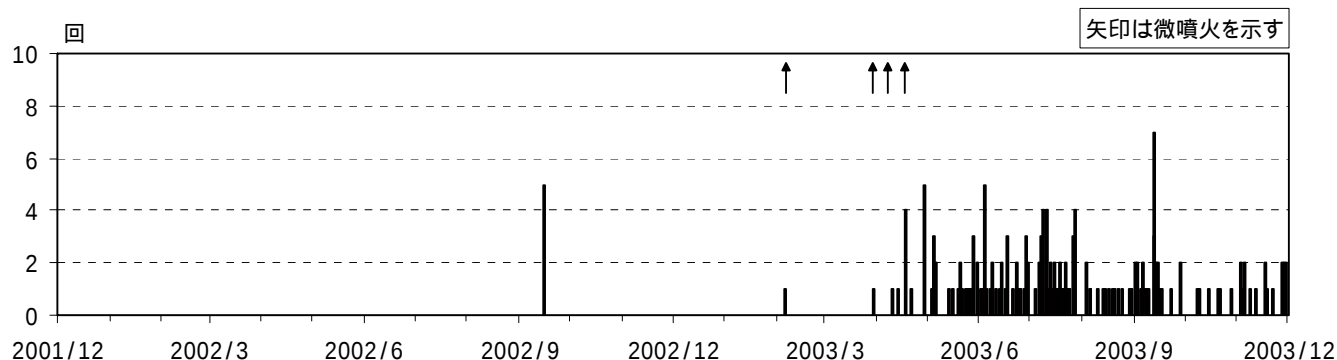


図 2 浅間山 火山性微動日別回数（2001 年 12 月 1 日～2003 年 11 月 30 日）

長期・月別 地震活動推移 （1964年1月以降の火山性地震・火山性微動の月別回数）

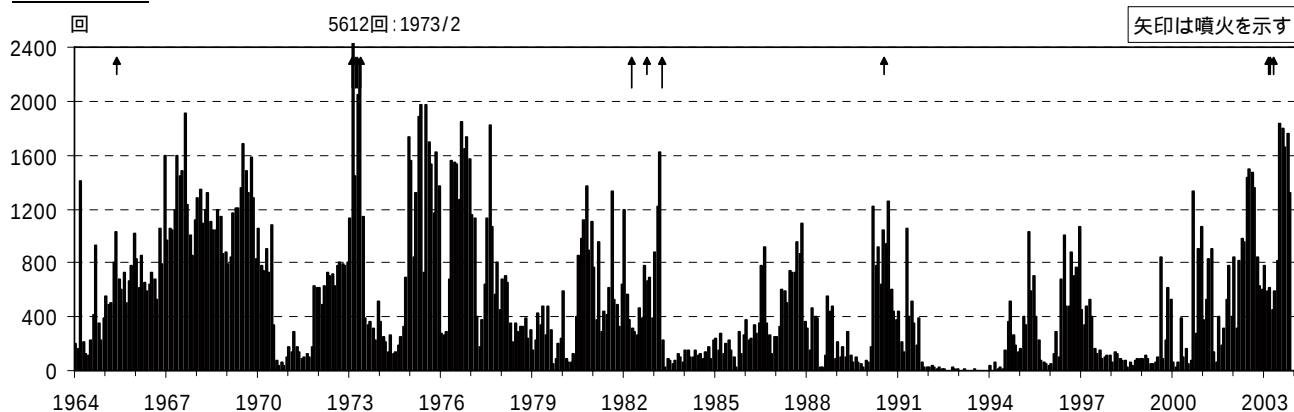


図 3 浅間山 火山性地震月別回数（1964 年 1 月～2003 年 11 月）

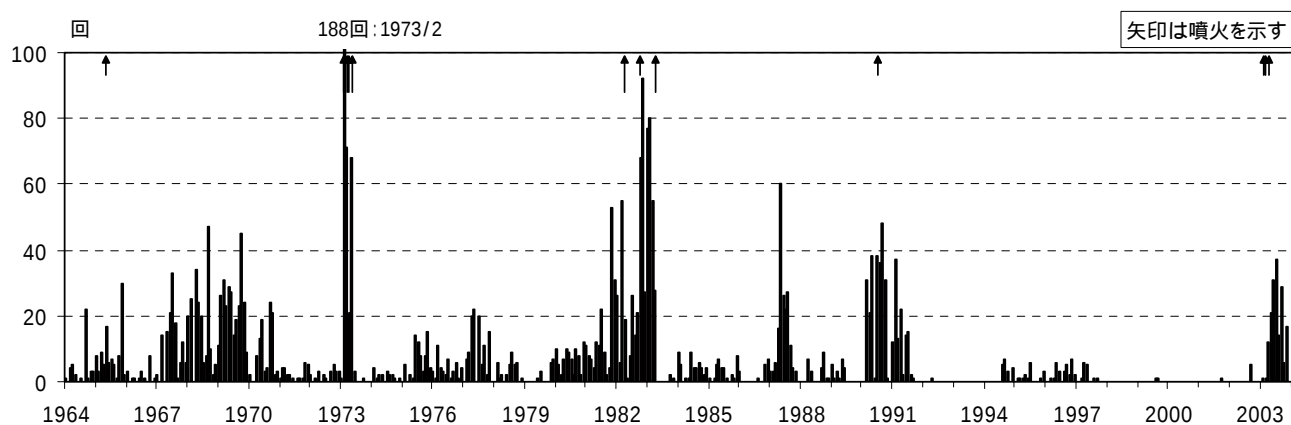


図 4 浅間山 火山性微動月別回数（1964 年 1 月～2003 年 11 月）

○噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、観測できた日数は13日でした。噴煙高度の最高は300m（2、19日）噴煙量は全て1でした。噴煙活動は1998～2000年頃の落ち着いた状態に戻りつつあります（図5～7）。

また、4月18日の極小規模な噴火以降、有色噴煙は観測されていません。

短期・日別 噴煙活動推移（最近2年間の日別噴煙高度）

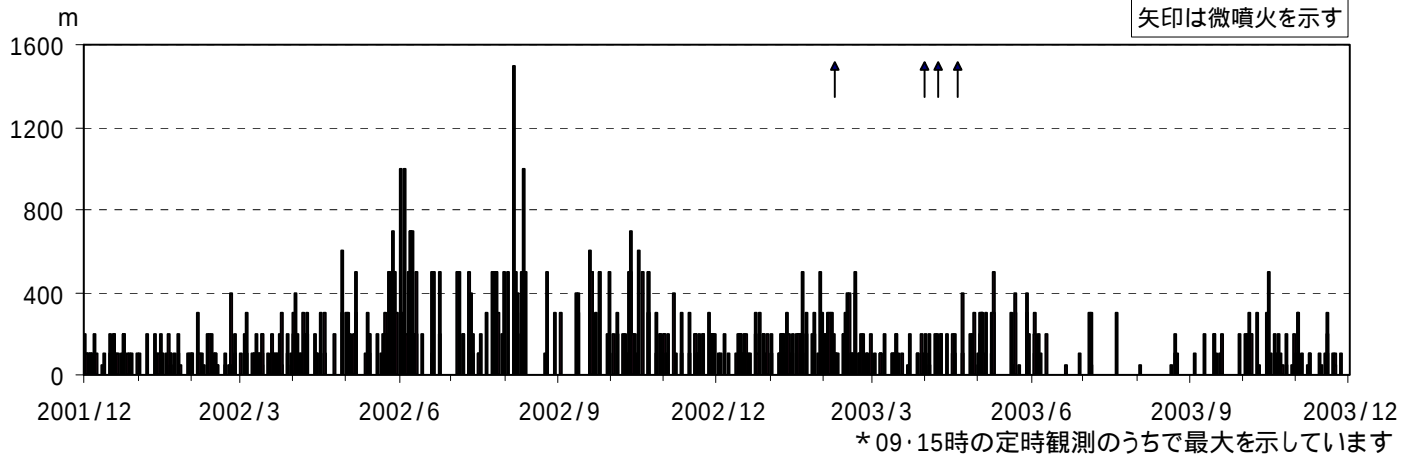


図5 浅間山 日別噴煙高度（2001年12月1日～2003年11月30日）

長期・月別 噴煙活動推移（1964年以降の月別噴煙高度・月別噴煙量）

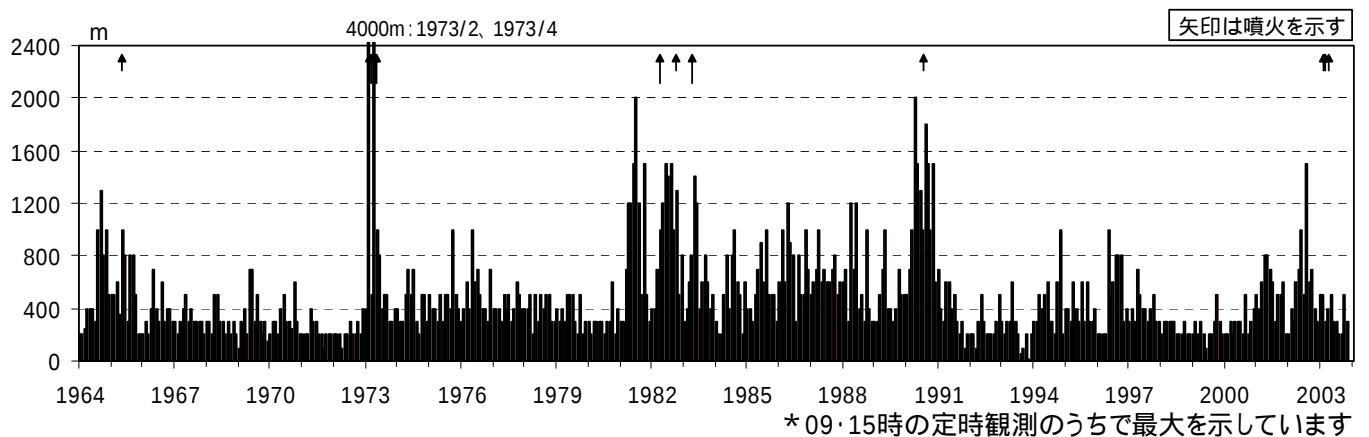


図6 浅間山 月別噴煙高度（1964年1月～2003年11月）

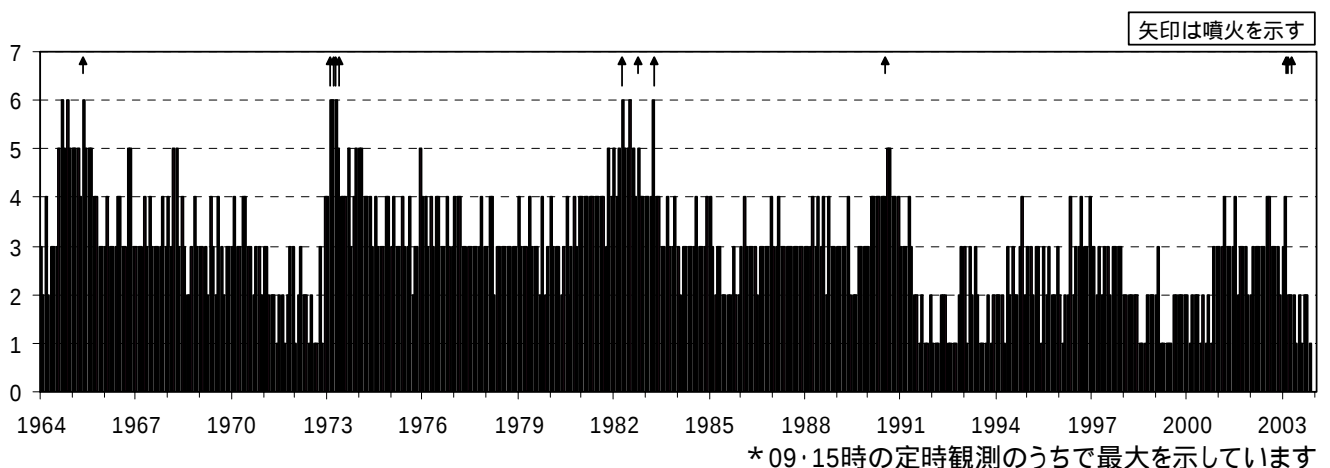


図7 浅間山 月別噴煙量（1964年1月～2003年11月）

○火口温度の状況

群馬県林務部設置の赤外カメラにより、時折、火口底内の高温部分が確認されており（図 8）、火口底温度の高い状態は続いていると考えられます。

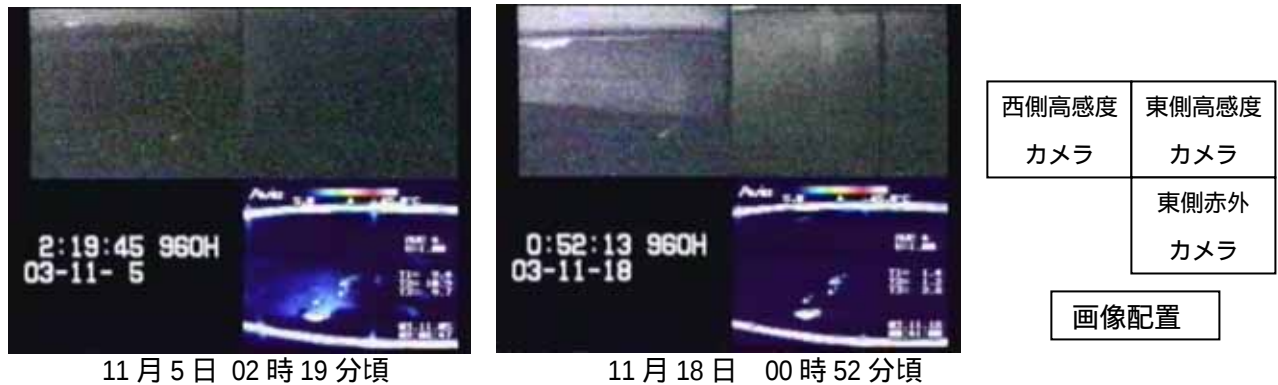


図 8 火口内の状況

○地殻変動の状況

G P S による連続観測では、火山活動によるとみられる顕著な変化はありませんでした（図 9）。

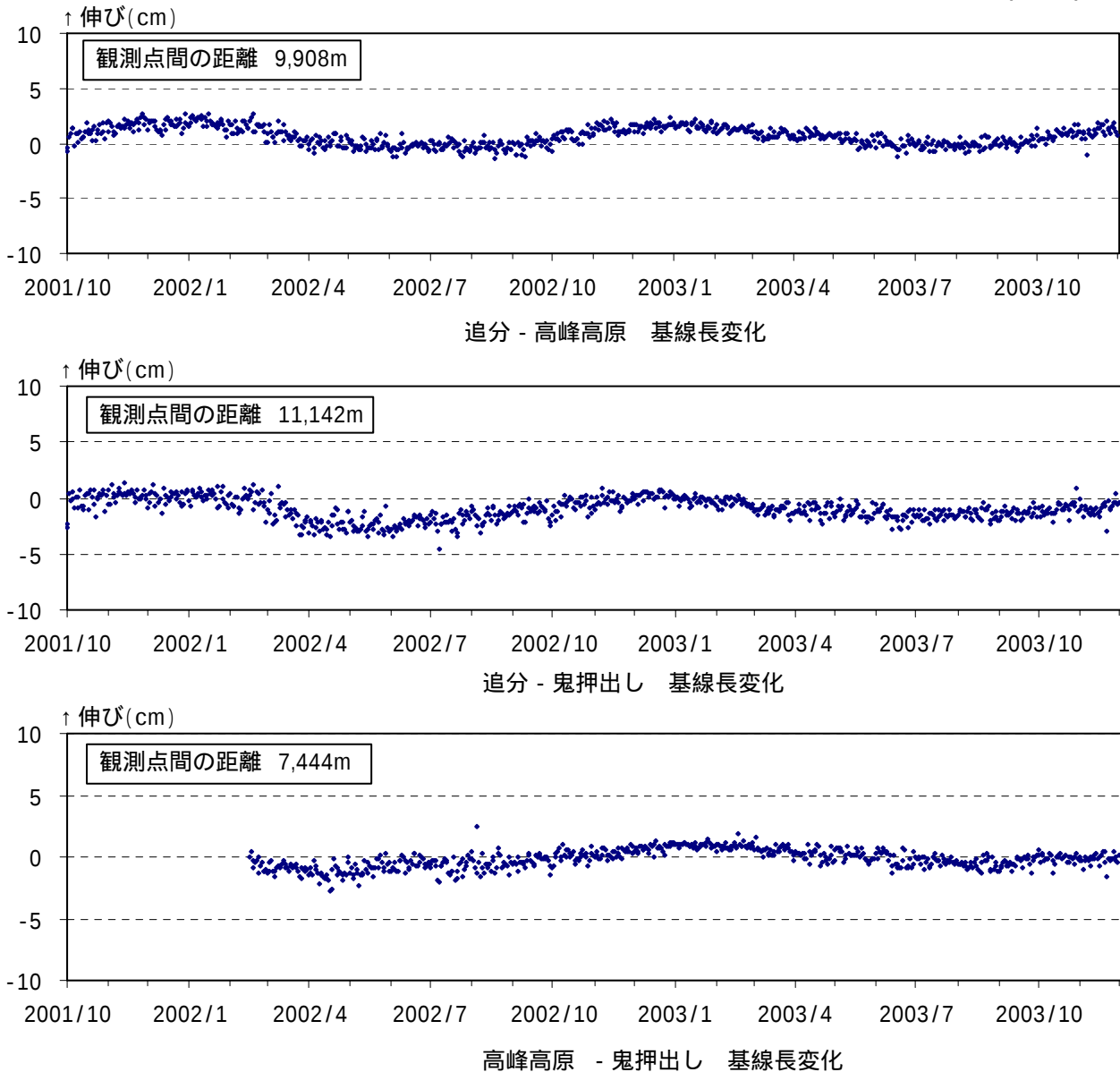


図 9 浅間山 G P S 観測結果（2001 年 10 月 1 日～2003 年 11 月 30 日）

